

公益財団法人 水島地域環境再生財団

## 平成 24 年度 事業報告書

(2012.4.1～2013.3.31)

公益財団法人に移行して 2 年目となる本年度は、2012 年 6 月 24 日の第 5 回理事会にて石田正也理事が理事長として就任し、新しい体制となった。事業としては、公益性を担保しつつ、持続可能な経営を目指したが赤字となった。

2012 年 4 月には倉敷市環境学習センターが水島にオープンし、水島のまちづくりにとって価値を高めるよう、活用につとめた。

本年度は、研修プログラム「水島プロジェクト」の推進に力を入れた。特に岡山大学で実施している日・中・韓の中核的人材育成プログラム「キャンパスアジア」へ研修機会を提供できたことは、海外への情報発信の足がかりとなった。本年度の後半には、中国の大気汚染や PM2.5 への社会的な関心の高まりや、それに関する取材などがあり、研修「水島プロジェクト」が今こそ求められていることを再確認する年となった。

### 1. 平成 24 年度 重点項目

#### 1) 公害・環境学習の機会を充実。人材育成も

6 月には、環境月間における倉敷市との懇談会 10 回目と倉敷市環境学習センターのオープンを記念し、「環境学習パワーアップワークショップ」を開催した(6/29)。くらしきパートナーシップ推進ひろばの佐藤尚宏氏にファシリテーターを依頼し、38 名の参加者が行政・市民・団体が同じテーブルを囲み、倉敷市の環境学習の現状と今後について話しあった。

また、「大学生のために社会見学&エコツアー」等、研修受入・講座開催の機会を通して、倉敷市環境学習センターの活用につとめた。

#### 2) 得られた知見を形に

これまでの調査研究事業によって得られた海ごみに関する知見を出版物として目に見える形で市民に啓発する活動については、今年度は実現できなかった。新たな試みとして、海ごみの普及啓発の一環として作成した映像資料は、今までとは異なるアプローチで作成し、これまで本問題に関心のなかった人にも興味を引くような工夫をした。

今年で 3 年目となる『岡山県温室効果ガス排出量算定・公表制度報告書』(共産党岡山県議団政務調査費事業)は、継続して発行し、シンポジウムの開催を通じて、企業の温暖化対策の担当者等にも CO<sub>2</sub> の削減がコストの削減にもメリットがあり、そのために本制度を活用することの重要性を伝えることができた。

### 3) 資料保存への取り組み

本事業は、(独法)環境再生保全機構から、あおぞら財団が受託。倉敷、四日市で平成24-25年度に資料保存・整理・電子化が進められており、現地として対応している。

### 4) 持続可能な組織の構築とファンドレイジング

今年度のファンドレイジングの取り組みとして、12月に賛助会員・寄付拡大を目指したパンフレットを作成し、協力をよびかけた。また白神客員研究員が、認定ファンドレイザーの資格を獲得した。

賛助会費は101万円、寄附金は86万円の協力が市民・団体・法人から得られ、事業を実施できた。予算時には賛助会費150万円、寄附金310万円を目標としていたが実績としては下回ったので、今後より一層の理解と共感を広げていけるようなファンドレイジングの取り組みと工夫が必要である。

## 2. 公益目的事業 1

### 1) 調査研究

#### ・資料保存

(独法)環境再生保全機構サイト「記録で見る大気汚染裁判」リニューアル事業として、目録づくり、電子化を進めたことにより、水島の公害裁判の資料を整理することができた。また、和解20周年事業に向けて、進め方の検討を行い、写真・年表等の資料の整理にも着手することができた。

#### (1) 倉敷公害裁判に関する資料の全体量の把握 確認作業および、ピックアップ

倉敷市公害患者と家族の会と岡山あさひ法律事務所に保存している裁判資料に関して、証人調書および準備書面の確認およびピックアップ作業の補助を行った。

作業日:2012年7月8日 目録確認および作業の打ち合わせ(患者会事務所、資料室)

2012年7月9日裁判資料並べ替え及び、所在確認(あさひ法律事務所)

2012年10月24日作業方針の打ち合わせ(みずしま財団事務所)

#### (2) 倉敷公害裁判に関する公開資料の目録作成および資料解説の補助

目録の作成並びにホームページ用の解説文の作文補助を行った。2012年度に作成した目録は、証人調書、準備書面に係わる資料である。

#### (3) 倉敷公害裁判に関する資料所蔵者及び関係者との連絡調整

資料整理・公開のために開催する現地会議開催に向けた連絡調整を行った。また、全体会議が今年度は倉敷で開催されたので会場確保・運営補助を行った。

現地会議:日時:2013年1月27日(日)13:30~15:30

場所:あさひ法律事務所会議室

全体会議 日時:2013年2月4日(月)14:00~16:00

場所:倉敷市環境学習センター環境学習教室

- ・ 環境保健

(独法) 環境再生保全機構の請負事業として、ぜん息・COPD 予防等情報発信事業に係わる「COPD 患者等の QOL 向上のための呼吸リハビリテーションの普及及び地域ネットワークの構築事業 (岡山ブロック)」を実施した。

内容は、検討会を 2 回開催し、地域ネットワークのあり方を検討し具体化に向けて課題を整理した。また患者向け講習会 2 回、医療従事者向け講習会 2 回、各種イベントを通じた肺年齢測定の実施等によって、COPD の病気そのものについて、また早期発見と予防、さらには呼吸リハビリテーションの効果について普及啓発活動を行った。

10/12 第 1 回検討会の開催

肺年齢測定 (9/29 国際協同組合年イベント、10/28 新見健康まつり、

11/11 玉島健康まつり、11/18 水島健康まつり)

10/19 患者向け歩くことを意識した呼吸リハビリ講習会

11/27 保健師向け講習会 COPD 研修

12/23 患者向け講習会「もっと知りたい呼吸器のこと」

2/8 第 2 回検討会の開催

3/10 医療従事者向け講習会「COPD 予防と早期発見をめざして」

- ・ 瀬戸内海の環境再生

海洋政策研究財団の調査「森川海の一体的な管理に関する調査研究 海底ゴミに関する漁業協同組合向けアンケート」や、「高梁川流域における海ごみ対策基礎調査」(平成 23 年度 備中県民局委託)を基にした報告を日本科学者会議 (JSA) 岡山支部例会や、JSA19 総学等で報告した。

当初、平成 23 年度の実績から委託事業として 300 万の予算を立てていたが、継続事業が前年度で終了していたことなどもあり、事業獲得には至らなかった。

- ・ 「岡山県温室効果ガス排出量公表制度」2011 年度実績の評価分析事業 (共産党岡山県議団政務調査費事業)

岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度に関する調査研究は、結果を評価し、報告書にまとめた。シンポジウムを 5 月に開催し、各事業者からの実績報告の分析結果を報告する中で、CO<sub>2</sub> の削減がコストの削減につながることを紹介し、本制度の活用による地域からの温暖化防止の働きかけを行った。

5/13 シンポジウム私たちが取り組む地球温暖化防止対策 30 名参加

- ・ コンビナート研究

防災等の観点からのコンビナート研究を進めることはできなかったが、水島コンビナート内の企業に水島港や船舶に関するヒアリングを行うなど、コンビナートに関する知見の蓄積に務めた。

## 2) 提言活動

岡山県、国交省の各委員会、部会に参加した。

9/6 岡山県環境審議会廃棄物対策部会（藤原園子）

3/18 国土交通省備讃瀬戸環境修復味野湾部会（塩飽敏史）

## 3. 公益目的事業2

### 1) 講師派遣

本年度は、13件の講師派遣を行った。高等学校など、数年前から継続しているものもあり、講師派遣が定着しつつある。講師派遣を通じて、これまでの調査研究の知見や水島の公害の経験を市民に伝えることができた。

- ・5/8 川崎医療福祉大学医療福祉デザイン学科講義「人を取り囲む環境」  
(フードマイレージ)
- ・6/11 日本科学者会議岡山支部よもやま話の会(海ごみ)
- ・6/12 笠岡工業高等学校スーパーエンバイロメントハイスクール研究開発事業  
(アマモ場)
- ・6/17 「シオ太のアマモ大作戦」海岸清掃・観察会(海ごみ)
- ・7/4 水島小学校 出前授業(八間川)
- ・7/11 倉敷芸術科学大学環境経済講演会(フードマイレージ)
- ・7/17 ノートルダム清心女子大学現代社会学基礎(水島の公害と地域再生)
- ・10/2 倉敷南高等学校(キャリアI 社会人講義)
- ・10/4 平成24年度公害健康被害予防事業研修(環境保健)
- ・11/2 中学校技術・家庭科研究大会 授業分科会(フードマイレージ)
- ・1/26 第4回おかやま環境シンポジウム(海ごみ)
- ・2/5 「シンプルエコライフ講座」岡山公民館(フードマイレージ)
- ・3/4 岡山県立矢掛高等学校 環境学習(海ごみ)
- ・3/20 おかやまコープ倉敷エリア エコライフ委員会(海ごみ)

### 2) 視察受入、研修事業

本年度は、水島エコツアー及び視察研修の受入を行いつつ、メニュー化を目指した。2回の水島エコツアーの実施と7件の視察受入(連続開催も含む)を行った。特に大学からの研修受入が5件あり、中国などを含む留学生にも水島の公害経験の情報発信を行うことができた。また、本年度は、「まちづくり」の分野からの申し込みもあり、視察受入の顧客層も広がりつつある。

- ・水島エコツアー
  - ① 大学生のための社会見学&エコツアー(9/5) 18名参加
  - ② 日本科学者会議19総学 エクスカーションツアー(9/17) 9名参加
- ・大学・企業などの視察研修受入

- ① 川崎医科大学 (4/18、5/9、6/6、8/29、10/31) 124 名
- ② ソワニエ看護専門学校 学生の学習支援 (6/23)
- ③ 島根大学法文学部 (9/23-24) 19 名
- ④ 吉備国際大学 (11/20) 23 名
- ⑤ 法政大学社会学部 (11/30) 10 名
- ⑥ 浜松まちづくり公社 (12/7) 2 名
- ⑦ 岡山大学 キャンパスアジア (12/13、1/18) 延べ 47 名

### 3) 学習講座・啓発

本年度は、2012 年 4 月 1 日にオープンした倉敷市環境学習センターの活用及び連携事業を進めることで、倉敷市内の環境学習の拠点としてのセンターの価値向上に協力した。2011 年度に作成したエコ指標は、海辺の観察会で活用 (2 回) したが、あらたな指標の作成はできなかった。高梁川流域・海域を利用した自然体験学習は、一般財団法人自然公園財団 (30 万円) と岡山県水産課の事業 (100 万円) として、漁業体験と海のごみ問題を考えるテーマで実施し、毎回 30 名近い参加者があるなど、定着してきたが、助成金以外の収入確保などの課題も残った。

本事業では、岡山県備中県民局協働提案事業 (200 万円)、(独法) 環境再生保全機構地球環境基金講座運営事業 (220 万円) の企画提案を行っていたが、いずれも不採択となっており、事業の確保における今後の課題である。

#### 倉敷市環境学習センターとの連携

- 4/16 講演会「ファンドレイジング大会で学んだこと」、「環境学習センター見学会」
- 9/4 街の環境探検隊 in 倉敷 (主催：倉敷市)
- 9/8 大学生と小学生のフードマイレージ買いものゲーム
- 10/27 環境講座「青山先生に聞く！ESD・環境教育の最新情報」
- 8/25 海辺のエコしらべ (水島) 15 名

#### 企画展示の開催

- 八間川展示 (7/17~27)
- 海の世界展示 (8/7~25)
- 地球温暖化防止展示 (9/6~18)

#### 八間川調査 (6/24、8/12)

#### 瀬戸内海の世界再生

- 9/22 アマモ場の生きものに会いに行こう！観察会 (笠岡) 18 名 (岡山県水産課)
- 11/17 船にのって、みんなで知ろう！漁業体験 (寄島) 26 名 (岡山県水産課)
- 2/16 船にのって、みんなで知ろう！漁業体験 (丸亀) 29 名 (自然公園財団)
- 3/9 船にのって、みんなで知ろう！漁業体験 (黒崎) 26 名 (自然公園財団)

#### 展示協力

- 6/2 ぐらしき環境フェスティバル (主催：倉敷市)

- 6/9 びっちゅう環境フェア（主催：びっちゅう環境フェア実行委員会）
- 10/7 リサイクルフェア in 暮らしき（主催：倉敷市）
- 10/20 環境フェア in 高梁（主催：高梁市環境衛生協議会など）
- 11/11 もったいない・おかやま晴の国フォーラム（主催：岡山県など）
- 12/9 STOP 温暖化+GREENDAY フォーラム（主催：STOP 温暖化実行委員会など）

#### 4) 支援・連携

地域課題の解決に向けた、地域の市民活動団体などへの支援・連携を今年度も実施した。まちづくりの支援は、引き続き水島おかみさん会から委託を受け、事務作業を担った。環境分野では、エコらぼ倉敷（倉敷環境市民会議）の事務局として懇談会や講座、エコ遠足の開催運営を担った。温暖化防止分野では倉敷・総社温暖化対策協議会やストップ温暖化倉敷実行委員会、生物多様性分野ではあおぞら財団と連携した事業を実施した。その他、本年度は、初めて倉敷市立南中学校のチャレンジワークを受け入れた。

##### 水島おかみさん会

水島港まつり（夢 Koi・Koi!）8/4-5

みずしま雛めぐり（2/23-3/10）

##### エコらぼ倉敷（倉敷環境市民会議）

6/29 環境学習パワーアップワークショップ

環境基本計画を学び、育てる懇談会（7/30、10/1、12/17、3/18）

エコ遠足（南浦 5/28、水江・船穂 11/6）

##### 他団体との連携

倉敷総社温暖化対策協議会交通システムグループ「暮らしき百景を自転車で巡るプロジェクト」（児島 4/8、水島 11/4）

ストップ温暖化倉敷実行委員会、「ストップ温暖化暮らしき 2012」開催協力

12/15-16 平成 24 年度環境保全戦略講座「グローバルで考えよう 生物多様性企画書づくりワークショップ」（あおぞら財団運営協力）

##### 学生の受入

倉敷市立南中学校チャレンジワーク受入（11/13-15）

#### 5) 情報発信・収集

今年度も、引き続き「みずしま財団たより」を隔月で発行すると同時に、FM 暮らしきのコーナーを活用した情報発信を行った。また、ブログによる情報発信、ソーシャルメディアとして facebook などの活用によって、様々な団体・個人と情報交流を行った。内部では、メールマガジンによって役員等と情報を共有した。

・みずしま財団たより

66 号 特集「2012 年度の事業計画のご紹介」

67 号 特集「ファンドレイジング」

- 68号 特集「懇談の場づくり&提言活動」
- 69号 特集「水島エコツアー」
- 70号 特集「新春企画 対談『くらしき・みずしま まちづくりトーク』」
- 71号 特集「情報の見方を伝える ～研修・交流事業を通じて～」
- ・FMくらしき みみみみずしま財団エコらぼ Friday（毎週金曜 15:40 頃～）

#### 4. 組織運営

2012年6月23日の第3回評議員会において森瀧健一郎理事長が理事を退任し、福田憲一氏が選任された。6月24日の第5回理事会で石田正也理事が理事長に選定された。また、白神加奈子研究員が6月末をもって退職し、非常勤の客員研究員になった。新しい理事長のもと、理事長懇談会を定期的を開催するなど、組織強化に努めた。

##### 1) 機関会議等

###### ・理事会

6/3 第4回理事会

平成23年度 事業報告・決算

6/24 第5回理事会

理事長及び専務理事の選定

7/28 理事長懇談会

9/9 理事懇談会

9/29 理事長懇談会

10/21 理事懇談会

11/29 理事長懇談会

1/30 理事長懇談会

2/27 理事長懇談会

3/2 第6回理事会

平成25年度 事業計画・予算（基本財産の設定、特定非常準備金取崩）

###### ・評議員会

6/23 第3回評議員会

平成23年度 事業報告・決算、理事及び監事の選任

11/10 評議員懇談会

3/16 第4回評議員会

平成25年度 事業計画・予算

###### ・監査

5/23 平成23年度監査

##### 2) 賛助会員数

事業の内容を整理し、寄附のお願いも含めたパンフレットを作成して広報活動に活かす

など、ファンドレイジングにも力を入れた結果、平成 24 年度の期間内（H24.4.1～H25.3.31）に 100 万円を上回る賛助会費を得る事ができた。

個人：142 人（510 口）

団体：18 団体（20 口）

法人：10 法人（26 口）

### 3) その他

毎週木曜日の午前に事務局打ち合わせの会議を開催した。打ち合わせでの重要事項や決定事項並びに 1 週間の取り組み、会費納入状況などをメールマガジンとして役員等に発行し、情報共有した。

以上